清く広く高らかに

第１３号　　令和５年１１月１７日（金）

柏原市立堅下南中学校　校長室だより

小学生中学校体験授業を実施

１１月７日（火）に堅下南小学校の６年生の皆さんが、中学校の授業を体験しに来てくれました。緊張した様子で２年生が普段使用している教室へ入り、見晴らしの良い教室からの眺めを感じながら、２時間の授業を受けてくれました。体験の最初は、児童たちに緊張した様子が見られましたが、時間が経つにつれて次第にリラックスしていき、生き生きと楽しそうに授業に参加していました。中学校の授業を体験したことにより、６年生は中学校入学への不安が軽減し、入学する楽しみが増えたのではないでしょうか。３学期には、「ホップ・ステップ・南中ライフ」と称して南中の生活について説明を聞いたり、部活動体験をしたりする予定です。１，２年生の皆さん、その時には後輩となる６年生の皆さんに温かく、優しく接してあげてください。

高島先生による社会の授業

竹村先生による理科の授業

１年生校外学習inアドベンチャーワールド

１１月１０日（金）雨模様の中、貸し切りバスに乗って、いざ白浜へ出発しました。到着後、園内を班毎に見学しました。広い園内を、「ケニア号」に乗ってサファリワールドを周りました。大自然の中で動物たちと出会い、ふれあいました。そして、なんといっても「ともに希望ある未来へ」をテーマにしたイルカ・クジラとトレーナーが繰り広げるマリンライブに、見学した皆が感動しました。この体験から学んだことを壁新聞にして発表する予定です。生徒の感想を一部、紹介します。

・すごいと思ったことは、環境と動物のことを考えながら管理していることです。どちらかに偏らず、両立させているのですごいと思いました。~中略~　たくさんの可愛い動物も見られてＳＤＧＳについて学べたので、とてもいい思い出になりました。

・分かったことは象が自然を守っていることです。何故なら象が種子散布をしているからです。種子散布は象が草などを食べて、食べ物に種が入っているので、糞と一緒に排泄することで、そこに新しい芽が生まれることです。象が絶命すると種子散布ができなくなってしまい、森がなくなってしまうことが分かりました。

職業体験学習を終えて

１１月６日（月）～８日（水）の期間に実施された４年ぶりの職業体験学習。１８の事業所（消防署、接客業、製造業等）の皆様にご協力いただき、様々な体験や貴重な経験をさせて頂きました。

職業体験学習は、自分の生き方や進路について考えたり、将来の夢や目標の実現のために学習意欲をさらに伸ばしたり、社会人としての基本的マナーやコミュニケーション能力を身につけたりすることを目的に実施しています。

１２月には、職業体験発表会を行い、１年生や事業所の方にその成果報告を聞いて頂く計画です。２年生の皆さん、プレゼン力は、社会を生き抜く中で大切な力の１つです。期待していますよ。

大盛況に終わった、なんちゅうたってなんしょうDAY

１１月１１日（土）に堅下南小学校で実施されました。地域の青少年指導員、芝のび隊、ＰＴＡ、子ども会、教職員が、体験コーナーを担当し、参加した小中学生（約２００人）に楽しんで頂くことができました。この日は北風が吹き、大変寒い中でしたが、集まった子どもたちの熱気で包まれました。特に最後のビンゴ大会では、参加者全員が用意していただいた景品を持ち帰ることができ、バルーンやヨーヨーなどを手にたくさん持って帰っていきました。日頃より子どもたちの健全育成のためにご尽力頂いておりますことに、感謝申し上げるとともに、家庭・学校・地域の三者が連携・協働し顔と名前が一致する大人と子どもの関係作りを目指していきたいと思います。

生理用品および収納ボックスの寄贈について

経済的な理由により生理用品を十分購入できない、いわゆる「生理の貧困」がニュースになっています。このような状況を受け、柏原市にゆかりのある企業様から児童・生徒の「生理の貧困対策」として、生理用品と収納ボックスを寄贈いただきました。

これまで保健室等に生理用品を常備していましたが、今回の寄附を活用し、女子トイレ内に生理用品収納ボックスを設置しますので、困った時には利用してください。